

『コロナ禍でのつながり 災害時に活かす』

令和3年10月9日(土)

災害って？思いつく自然災害を書き出してみましょう。

これらは地球にとっては自然現象であり、災害ではありません。人から見て「災い」「害」と捉えているにすぎません。

では、何故「災い」「害」と捉えるのか。。。。

怖い

不安

命の危機

だからです。

命を守る方法を知っていれば不安を減らすことができるでしょう！

どんなことが起きる？ハザードマップを見てみましょう！

自宅：

避難所：

どう行動する？

避難所の様子を想像してみましょう。。。。

まず、両隣、前後、斜めの家に住んでいる人は何人ですか？

	自宅	

合計 人

どこに避難するか？

何を備える？ 水道・ガス・電気が止まったら何が必要？

人が生きるうえで必要な物は何でしょう？

家に今あるものは？ 買うと良いなと思ったものは？

★帰ってすぐにやること★

●マズローの5段階欲求階層



https://www.kango-roo.com/ki/image_1482/

●ハザードマップと被害予想

「春日井市ハザードマップ」で検索
坂下中地区の人は地震、洪水、土砂災害を確認しましょう。

- ・気象庁の「キキクル」
- ・雨雲レーダー
- ・市の安全安心情報の川の水位情報も活用しましょう。

●人が生きるために必要なもの

- ・酸素
- ・光
- ・水
- ・温度
- ・火
- ・食べ物
- ・安全な空間
(正確な情報)

●家具固定と環境整備

命があつての備蓄品の活用です。
家具固定と備蓄品の置き場も検討しましょう。



●身の守り方

イラスト提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議
<http://www.shakeout.jp/>



頭・胸(心臓と呼吸器)を守りましょう。

●避難所という場所

たくさんの人が集まる避難所の生活は音や臭い、公衆衛生面で良い場所とは言えません。プライバシーが守られにくい環境はストレスも多く、子どもと安心して過ごせる場所とは言い難いです。

●ローリングストック法



<https://t.co/lgH0XTcCSm>

●中学生の地域での役割

中学生は毎日通学路を通ったり、友達とあちこち出かけたりと地域のことをよく知っていて、しかも体力があります。守ってあげる存在から地域の一員として活躍できる存在であることを普段から自覚してもらう活動ができると良いと思います。

